

## 設 立 趣 旨 書

東京急行電鉄株式会社は、大正11年9月当時東京西南部の多摩川沿岸、洗足等において、文化住宅地の経営をしていた会社から分離発足し、鉄道業の経営を始めました。

その後、日本経済の発展とともに人口の都市集中が行なわれ当社は、東京西南部、川崎市、横浜市における住宅および輸送の確保両面においてその役割をはたしながら付帯事業を含めて事業を拡大し今日の東急グループに至りました。

周知のごとく急激な経済発展の中にそのひずみと見られる生活環境施設の不足や産業活動によって、環境破壊をもたらし、これを如実に表現するがごとく汚染が進んでいるのが、我国の諸河川であり、多摩川もその例外ではありません。

これを解決することは、公共団体の政策によると同時に社会的責任のある企業にとっても重大な責務であります。

当社は、創立以来地域住民の福祉の向上に奉することを経営の理念としてまいりましたが、たまたま昭和47年をもって50周年を迎えましたので最も有意義な事業を行ないもって社会に奉しするため、事業地域の中心を流れる多摩川およびその流域における環境浄化をはかるため財団法人とうきゅう環境浄化財団を設立せんとするものであります。